

日本語についての種々の辞書

2011.07.04 修正

文責：日本課程

●現行の大辞典・中辞典

○『日本国語大辞典』

[初版](#) 1972 (20 巻：[縮刷版](#) 10 巻)、 45 万項目 75 万用例

[第二版](#) 2000～2002 (13 巻+別巻 1) 約 50 万項目 100 万用例

・別巻：漢字索引、方言索引

意味については歴史主義。用例に年代を付す。方言語彙もある。

※⇒1981(1993)『[国語大辞典](#)』 1 巻、約 25 万項目

1985『現代国語例解辞典』 小型

2005 年 [精選版](#) 3 冊 ⇒電子辞書 (カシオ)

2007 年 [オンライン版](#) (個人 1575 円/月 法人 15750 円/月)

(※附属図書館注：学内の PC から「[JapanKnowledge+N](#)」経由で利用できます。)

○『広辞苑』新村出編、1955 (初版) ～1998 ([第五版](#))、岩波書店

・約 23 万語、現代語・古語。語釈は語源に近いものから配列。

・国語項目・百科項目 (徳川家の系図など)。

・1978 CD-ROM 版、1990 電子ブック、1992『[逆引き広辞苑](#)』

○『大辞林』松村明編、1988 ([初版](#)) ～2006 ([第三版](#))、三省堂

・約 23 万語、現代語中心。

・語釈は現代語として用いられる意味・用法を中心にする。

・国語項目 (+百科項目)

○『学研国語大辞典』金田一春彦・池田弥三郎編、1978 ([初版](#)) ～1988 ([第二版](#))、学研

・約 10 万項目。用例を文学作品からとる。

・語構成要素に注目した語群。

●明治初期の辞書

○『言海』大槻文彦著、明治 22～24 年(1891。完成は M17)、(4 分冊～1 冊)、昭和 10 年代まで[重版](#)。大・中・小。

・最初の近代的な国語辞書。

・しっかりした編集方針。ウェブスターの辞書『オクタボ』を参考にする。

⇒「編纂ノ大意」

・一人での編集・執筆。個人的編纂の限界と特色あり。

・約 3 万 9 千語

・五十音配列 cf.M29 の辞書にもいろは引きのものあり。

・各語について、発音・語別 (品詞)・漢字表記・語釈・語源・出典を記載。

・語釈は詳しいが、やや疑問のあることも。

- ・「編纂ノ大意」（辞書学について）、「語法指南（日本文法摘録）」“辞書ハ文法ノ規定ニ拠リテ作ラルベキモノニシテ、辞書ト文法トハ、離ルベカラザルモノナリ”  
「語法指南（日本文法摘録）」⇒『[広日本文典](#)』  
『[大言海](#)』大槻文彦著、大久保初男らが、大槻の死後完成。  
1932～1937. 5冊

- 『[日本大辞書](#)』山田美妙著、M25～26、もと11冊⇒1冊。
  - ・口語体で書かれた最初の国語辞書
  - ・『言海』を意識し、批判も述べている。 Cf. 「おてんば」「おでん」
  - ・語釈で『言海』との差をだしているところもある。
  - ・各語に、発音、音調（アクセント）、語類、語原、漢字表記、解釈、書典例証、を付す。  
「はな（花）第二上、（鼻）全平」 当時の東京語（口語）の生きた資料。
  - ・巻末に附録として「日本音調論」「言文一致論概略」がある。  
地名、人名（日本人・西洋人・支那人）

### ●感情表現辞典

- 『[日本形容詞辞典](#)』村石利夫著、1982 日本文芸社
  - ・もともと翻訳家
  - ・名詞を修飾する“形容詞句”の実例を収集 13000句  
かなり慣用的になった形容表現がある  
りんごのようなほっぺ、猫の額ほどの庭
  - ・類語 12600語
- 『[感情表現辞典](#)』中村明著、1993、東京堂出版
  - ・比喩研究の専門家
  - ・感情を「喜」「怒」「哀」「楽」「恥」「怖」「好」「驚」など10類に分類。
  - ・語句編と表現編
  - ・小説などでの使用例が示されている。

### ●擬音語・擬態語辞典

- 『[擬音語・擬態語辞典](#)』天沼寧(ヤスシ)、1974、東京堂出版
  - 約1500語、
  - ・解説として、「擬音語・擬態語の型」がある。  
音声面の特徴が詳しい
  - ・各語について、意味と例文（主に新聞、他に、作例単行本、雑誌からも少し。）
  - ・例文はほとんどすべて。新聞から採集した用例多数
- 『[擬音語・擬態語辞典](#)』浅野鶴子編、1978、金田一春彦解説、角川書店（角川小辞典シリーズ）五十音順
  - ・約800語、例文は作例。簡潔な例文でわかりやすい。

- ・金田一による解説（それほど詳しくない）
- ・各語について、意味、例文（作例）、類義語との違いも重視

○『[擬音語・擬態語の読本](#)』日向茂男監修 1991 小学館  
 意味分類 1200 語  
 説明が簡潔でわかりやすい。例もよい。

○『江戸のかたきを長崎で』榎垣実、1961、関書院  
 “副詞でほえる日本の犬、動詞でなくイギリス人”

### ●類語辞典・類義語辞典

- 『[類義語辞典](#)』徳川宗賢・宮島達夫著、1972、東京堂
- 『[類語大辞典](#)』柴田武・山田進編、2002、講談社
- 『[角川類語新辞典](#)』大野晋・浜西正人著、角川書店

### ●隠語辞典

- 『[隠語辞典](#)』榎垣実編、1951[2000]、東京堂出版 「隠語概説」がある 60 頁
- 『[隠語集](#)』捜査実務研究会編、1989、真正書籍
- 『[隠語の世界](#)』渡辺友左著、1981、南雲堂

### ●外来語辞典

外来語辞典は、明治 45 年に作られたのが最初。ただしごく簡単なもの。

- 『[日本外来語辞典](#)』上田萬年編、1915、三省堂
  - ・はじめての本格的な外来語辞典。言語学者・歴史学者が加わる。
  - ・ローマ字つづりのアルファベット順
- 『[角川外来語辞典](#)』荒川惣兵衛著、1941、富山房⇒1967 角川書店
  - ・文献 300 万ページから外来語を集め、約 2 万 5 千語を得る。そのうち、約 1 万語を見出し語として収録。
  - ・五十音順
  - ・意味分野・原語・つづり・転訛・意味を示す。
  - ・その語が移入された時期を示す日本語文献からの用例と出典を示す。
- 『[基本外来語辞典](#)』石綿敏雄編、1990、東京堂出版
- 『[コンサイス カタカナ語辞典](#)』三省堂編修所編、1994、三省堂  
 「アルファベット略語」をまとめて採録。7000 語
- 『[図解外来語辞典](#)』吉沢典男著、1979、角川書店

細かい違いも図で解説（「コート」「そで」の種々……）  
 部門別の構成（交通・ファッション・芸術……）

●逆引き辞典

- 『[日本語尾音索引—現代語篇](#)』、田島毓堂・丹羽一彌編、1978（1989 普及版）笠間索引叢刊〔『岩波国語辞典』[第二版](#)による〕
- 『[綴字逆順排列 語構成による 大言海分類語彙](#)』風間力三編、1979、富山房〔『大言海』による〕
- 『[日本語逆引き辞典](#)』、北原保雄編、1990、大修館書店〔各種語彙調査による〕
- 『[逆引き広辞苑](#)』、岩波書店辞典編集部編、1992、岩波書店〔『広辞苑』[第四版](#)による〕

●慣用句・四字熟語

- 『[慣用句辞典](#)』白石大二著、1982、東京堂出版
- 『四字熟語・成句辞典』竹田晃著、1990、講談社
- 『[新明解 四字熟語辞典](#)』三省堂編修所編、2004、三省堂
- 『[慣用句の意味と用法](#)』宮地裕編、1982、明治書院  
 文例、意味、文型、類語、多言語での言い方、などが載っている。  
 「慣用句概説」がある。

●その他

- 『新潮国語辞典』山田俊雄他編修、1965（[初版](#)）～1995（[第二版](#)）、新潮社
- 『[図説日本語](#)』林大監修、1982、角川書店
- 『[日本語基本動詞用法辞典](#)』小泉保他編、1989、大修館書店
- 『[教師と学習者のための 日本語文型辞典](#)』グループ・ジャマシイ編、1998、くろしお出版

- 『[ことばの意味 辞書に書いてないこと 1・2・3](#)』柴田武他著、1976、1979、1982 平凡社選書

2～3の類義語について、意味用法の違いを詳しく説明。

論文・辞書というよりも、読み物的でおもしろい。

あがる：のぼる　　あたる：ぶつかる

うれしい：たのしい　　もったいない：おいしい：残念

かならず：きっと　　せつかく：わざわざ：わざと

かど：すみ　　じゅんび：ようい：したく

● 反対語辞典

- 『[反対語大辞典](#)』中村一男編、1965〔1975〕、東京堂書店  
 できるだけ同一品詞　cf. ただし、きれい⇨きたない　若い⇨老いた  
 できるだけ一対一　　販売⇨購入（\*購買）　cf. 　ただし、高い⇨低い・安い